

市職員の給与と定員管理の公表

① 人件費の状況

区分	歳出額(A)	人件費(B)	人件費率(B)／(A)
平成15年度 普通会計決算	24,171,988千円	5,673,325千円	23.5%

(注) 人件費には、特別職に支給される給料、報酬などを含まず。

市職員の給与および定員管理について、市民の皆さんに広く知っていただくため、給与の状況(①～⑨)・定員管理の状況(⑩～⑪)をお知らせします。

② 職員給与費の状況

区分	職員数(A)	給与費				1人当たり給与費(B)／(A)
		給料	職員手当	期末勤勉手当	計(B)	
平成16年度	612人	2,517,625千円	622,342千円	1,103,550千円	4,243,517千円	6,933千円

(注)

1. 職員数には、再任用職員(3人)を含みます。
2. 給与費は、一般会計の補正後の額です。
3. 職員手当には、退職手当を含みません。

③ 職員の平均給料月額および平均年齢の状況 (平成16年4月1日現在)

区分	一般行政職	
	平均給料月額	平均年齢
八潮市	352,747円	44.0歳
埼玉県	368,480円	42.8歳
国	327,555円	40.2歳

④ 職員の初任給の状況 (平成16年4月1日現在)

区分	八潮市		国		
	初任給	採用2年経過日給料額	初任給	採用2年経過日給料額	
一般行政職	大学卒	177,400円	191,400円	170,700円	184,400円
	高校卒	148,500円	160,200円	138,800円	148,500円

⑤ 職員の経験年数別、学歴別平均給料月額の状況 (平成16年4月1日現在)

区分	経験年数7～9年	経験年数10～14年	経験年数15～19年	
一般行政職	大学卒	250,133円	291,387円	332,803円
	高校卒	— 円	256,556円	294,750円
技能労務職	— 円	279,875円	285,166円	

- (注) 1. 経験年数とは、卒業後直ちに採用され引き続き勤務している場合の採用後の年数をいうものです。
2. 一般行政職とは、現業職員、消防職員、水道部職員、税務職員、福祉職員、看護保健職員、医療技術職員および教育公務員(指導主事)のいずれの職種にも属さないすべての職員をいいます。

⑥ 職員手当の状況 (平成16年4月1日現在)

区分	八潮市	国
期末手当	○平成16年度支給割合(給与改定なし) 期末手当 勤勉手当 6月期 1.4月分 0.7月分 12月期 1.6月分 0.7月分 計 3.0月分 1.4月分	本市と同じ
勤勉手当	職制上の段階、職務の級等による加算措置 有	
退職手当	○支給率 自己都合 定年 勤続20年 21.0月分 28.0875月分 ◇25年 33.75月分 43.335月分 ◇35年 47.5月分 60.99月分 最高限度額 60.0月分 60.99月分 その他の 定年前早期退職特例措置 加算措置 (2%～20%加算) 退職時 1号給昇給 勸奨退職最高2号給	本市と同じ 退職時 1号俸昇給
扶養手当	○配偶者13,500円 ○配偶者以外の扶養親族 2人まで1人6,000円、3人目から1人5,000円 ○扶養親族でない配偶者を有する場合の1人目の子等6,500円 ○特定扶養 上記の扶養親族のうち16歳から22歳の子について5,000円加算	本市と同じ
住居手当	○借家の場合(家賃12,000円を超える場合に限り) 家賃の額に応じて27,000円を限度に支給 ○自宅の場合(住宅の所有者で世帯主) 新築・購入後5年間2,500円、その他1,000円	本市と異なる
通勤手当	○電車、バスを利用する場合 6ヵ月定期券等の価格による一括支給を基本とし、1月当たりの運賃等相当額55,000円を限度に支給 ○乗用車等を使用する場合 使用距離等に応じて2,000円～24,500円を支給	本市と同じ
時間外勤務手当	平成15年度 支給総額 141,773千円 職員1人当たり支給年額 228千円 平成14年度 支給総額 121,088千円 職員1人当たり支給年額 192千円	
調整手当(平成15年度)	支給対象 市職員 支給率 10% 支給対象職員数 621人 国の制度(支給率) 比較対象区域なし 支給対象職員1人当たり平均支給年額 412,932円	
特殊勤務手当(平成15年度)	職員全体に占める手当支給職員の割合 13.8% 支給対象職員1人当たり平均支給年額 65,848円 手当の種類 作業手当、特殊自動車運転手当等6種類	



7 一般行政職の級別職員数の状況

(平成16年4月1日現在)

区 分	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級	8 級	計
標準的な職務内容	主事補 技師補	主事 技師	主任	係長	課長 補佐	課長	次長	部長	—
職員数(人)	5	67	131	98	32	33	13	12	391
構成比(%)	1.3	17.1	33.5	25.1	8.2	8.4	3.3	3.1	100.0
(参考)	1 年前	1.5	18.0	33.7	24.4	7.6	8.1	3.7	100.0
構成比(%)	5 年前	5.0	28.4	28.8	19.9	5.2	6.9	2.8	100.0

(注) 1. 八潮市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。
2. 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職名です。

8 特別職の報酬等の状況

(平成16年4月1日現在)

区 分	給料月額	区 分	報酬月額	期末手当
市 長	792,000円	議 長	440,000円	平成16年度支給割合 (改定なし) 6 月期 2.1月分 12月期 2.3月分 計 4.4月分
助 役	690,000円	副議長	400,000円	
収入役	651,000円	議 員	380,000円	

10 部門別職員数の状況と主な増減理由

(各年4月1日現在)

		職員数		対前年 増減数	主な増減理由
		平成15年	平成16年		
一般行政 部 門	議 会	7	7		
	議 務	121	118	△3	事務事業の見直し
	税 務	44	44		
	民 生	133	129	△4	事務事業の見直し
	衛 生	35	35		
	労働	5	3	△2	一部委託化
	農林水産 商 工 土 木	6 6 107	6 6 105	 △2	 事務事業の見直し
小 計	464 (3)	453 (3)	△11 (0)		
特別行政 部 門	教 育	67	65	△2	事務事業の見直し
	消 防	88	88		
小 計	155 (1)	153 (0)	△2 (△1)		
公営企業等 会 計 部 門	水 道	27	27		
	下 水 道	18	17	△1	事務事業の見直し
	そ の 他	44	51	7	国民健康保険税の徴収強化
	小 計	89 (2)	95 (0)	6 (△2)	
合 計	708 (6)	701 (3)	△7 (△3)		

(注) 1. 職員数は、教育長・休職者・派遣職員などを含み、特別職・臨時および非常勤職員を除いています。
2. () 内は、再任用短時間勤務職員で、それぞれの計に含まれていません。

9 ラスパイレス指数

	ラスパイレス指数
平成11年度	95.0
平成12年度	93.3
平成13年度	92.7
平成14年度	93.2
平成15年度	97.7

ラスパイレス指数とは、一般行政職について国家公務員の給料を100とした場合、地方公務員の給与水準がどのくらいを示す指数です。(各年度とも4月1日現在)
八潮市職員の給料のラスパイレス指数は表のとおりです。

11 定員適正化計画の数値および進捗状況など

(1) 定員適正化目標(数・率)および手法の概要

高齢化対策および児童福祉対策・つくばエクスプレス建設・南部地区開発において見込まれる増員については最小限とし、事務事業の統廃合・民間委託などの推進により平成9年から平成28年までの20年間で36人(4.99%)の削減を図っています。
※定員適正化計画は平成9年5月1日に策定しました。

(2) 定員適正化計画の年次別進捗状況(実績)の概要(各年4月1日現在)

	区分	平成8年 (計画前年)	平成9年 (1年目)	平成10年 (2年目)	平成11年 (3年目)	平成12年 (4年目)	平成13年 (5年目)	平成14年 (6年目)	平成15年 (7年目)	平成16年 (8年目)	数値目標(参考)			
											第1次 平成9~13年	第2次 平成14~18年	第3次 平成19~23年	第4次 平成24~28年
一般行政 部 門	差	—	△1	△11	△1	4	△5	0	△5	△11	△10	△20	△20	2
	職員数	483	482	471	470	474	469	469	464	453	473	453	433	435
特別行政 部 門	差	—	△7	3	1	6	△3	0	0	△2	3	5	5	5
	職員数	155	148	151	152	158	155	155	155	153	158	163	168	173
公営企業等 会 計 部 門	差	—	△6	6	4	2	4	△1	△4	6	10	5	△14	△7
	職員数	84	78	84	88	90	94	93	89	95	94	99	85	78
計	差	—	△14	△2	4	12	△4	△1	△9	△7	3	△10	△29	0
	職員数	722	708	706	710	722	718	717	708	701	725	715	686	686